

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年1月10日

協議会名:加賀市地域公共交通活性化再生協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
北鉄加賀バス(株)	(路線名)温泉片山津線 (運行区間)加賀温泉駅～片山津温泉～石川病院～湖城団地～加賀温泉駅	今年度も引き続き、MM施策として加賀市の協力のもと、加賀市内全世帯と高校の新生入生に時刻表を配布した。周遊クーポンの金沢駅バスターミナルでの設置は引き続き検討	B 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施していない点があった。	B コロナ禍により、定期外の観光利用が減少したことが影響し、1便あたり乗車人員は10.45人と目標の12人を下回った。	引き続き、MM施策として加賀市の協力のもと、加賀市内全世帯と高校の新生入生に時刻表を配布する他、運行本数を維持しつつ運行時間帯の見直しを行い、利便性の向上を図る。また、R4.11スタートの加賀MaaSアプリデジタル乗車券の拡販を図る。
北鉄加賀バス(株)	(路線名)山代大聖寺線 (運行区間)山中温泉～山代温泉東口～上河崎～大聖寺駅～大聖寺実業高校・かが交流プラザさくら	今年度も引き続き、MM施策として加賀市の協力のもと、加賀市内全世帯と高校の新生入生に時刻表を配布した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B コロナ禍による学校休校の影響を一時的に受けたものの、1便あたり乗車人員は7.77人と目標の8人を下回った。	引き続き、MM施策として加賀市の協力のもと、加賀市内全世帯と高校の新生入生に時刻表を配布する他、ダイヤの見直しを行う。また、R4.11スタートの加賀MaaSアプリデジタル乗車券の拡販を図る。
北鉄加賀バス(株)	(路線名)温泉大聖寺線 (運行区間)山中温泉～山代温泉東口～上河崎～大聖寺駅～かが交流プラザさくら	今年度も引き続き、MM施策として加賀市の協力のもと、加賀市内全世帯と高校の新生入生に時刻表を配布した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B コロナ禍により、定期外の利用が減少したことが影響し、1便あたり乗車人員は3.25人と目標の5人を下回った。	引き続き、MM施策として加賀市の協力のもと、加賀市内全世帯と高校の新生入生に時刻表を配布する他、ダイヤの見直しを行う。また、R4.11スタートの加賀MaaSアプリデジタル乗車券の拡販を図る。
北鉄加賀バス(株)	(路線名)吉崎線 (運行区間)加賀温泉駅～上河崎～大聖寺駅～塩屋	今年度も引き続き、MM施策として加賀市の協力のもと、加賀市内全世帯と高校の新生入生に時刻表を配布した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 少子化進行による学生数減少での定期の利用が減少したことが影響し、1便あたり乗車人員は10.95人と目標の11人を下回った。	引き続き、MM施策として加賀市の協力のもと、加賀市内全世帯と高校の新生入生に時刻表を配布する他、塩屋地区在住の通学生の利便性向上のため、通学時間帯における錦城中学校前、大聖寺実業高校前経由化を検討する。また、R4.11スタートの加賀MaaSアプリデジタル乗車券の拡販を図る。
日本海観光バス株式会社	系統名:キャンパス空港線 運行区間:加賀温泉駅～片山津温泉～小松空港	沿線住民に割回数券の利用促進。 Wi-Fi設置によるサービス向上。	C 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、観光客の激減と、航空機運行減便が継続した。このことで、空港を利用する地域住民も少ない状況が続いた。僅かな利用しか見込めない中で、無理に運行することで経営的な問題が生じ、結果廃線となれば本末転倒になるとの思いから、当該期間はやむを得ず全便運休とした。	C 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、同系統は運休したため、達成されなかった。	新型コロナウイルス感染症の影響が長期に影響したことにより、誠に不本意で申し訳ない結果となった。しかしながら、コロナウイルスの状況も変わりつつあり、航空機の運行状況も安定してきている。路線の再編も行って、住民・観光客がともに使いやすいよう改善に努めるとともに、加賀市の進める加賀市マースアプリに参画によるデジタルチケットによる利用促進などを行って改善を図る。また、他の公共交通機関と協調した利用促進も今後積極的に行っていく。